

会 報

# 鳥 取

第 8 号

2003年1月



鳥取市東町 仁風閣 提供 鳥取県観光課

目 次	年頭のあいさつ …………… 1～3	シルバー人材センターの紹介 …… 11
	平成14年度臨時理事会開催 …… 3	会員の広場 …………… 12～13
	平成14年度事業実施状況 …… 3～6	講習会に参加して…………… 13～15
	平成14年度SP事業の実施状況 … 7	シルバー人材センター設置状況 … 16
	健康シリーズ⑦ …………… 8～10	

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

# 年頭のご挨拶



(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 川口 貞良



新年あけまして、おめでとございます。皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当連合会は、発足以来四年が経過し五年目の新春を迎えましたが、その間、多くの方々のご支援を得て、充実した歩みが続けてまいりましたことに、大きな喜びと感謝を感じるものでございます。

さて、昨年の当連合会の事業実績は、長期にわたる景気の低迷等により雇用情勢は、大変厳しいものがありました。そんな中で県内シルバー人材センター事業は着実に伸展の歩みが続けております。平成十三年度の上半期と平成十四年度の同期と比較いたしますと、会員数は、四千七百七十名で（十・九パーセント増）・受注件数は、一万九千件で（八・六パーセント増）・契約金額では、七億二千六百万円（九・六パーセント増）とあり、い

ずれも十四年度上半期が伸びています。厳しい状況下でこのようなすばらしい、実績を挙げ得ましたのは、事業に携わる会員、役員各位のご努力によることはもちろん、関係諸機関よりの格別のご配意や、地域住民の皆様温かいご支援により、シルバー人材センター業務を順調に発展させることができましたことに、心から厚くお礼を申し上げます。

また、シルバー人材センター設置促進事業であります。現在県下に未設置町村が十二町村ありますが、関係機関の皆様方のご協力により、本年度末までに、三町が設置予定となっておりますが、ただ現在、各市町村の合併が進められていますので、これに伴うシルバー人材センターの統合等が当面の重要な課題であり、早急の取り組みが必要と考えております。

平成十年度から、国からの委託事業のシニ

アワークプログラム事業（技能・介護講習）につきましては、各関係機関や各種事業主団体等のご支援をいただき、高齢者の雇用機会の確保・提供等について成果があったと確信しております。

ご承知の通り、団魂の世代がやがてシルバー世代に入り、超高齢社会が到来すると、シルバー人材センターの役割と使命は益々重要になってまいります。健康で働く意欲のある高齢者の豊かな知識・経験・技能が地域社会に必要とされることから、アクティブ・エイジング（活力ある高齢化）の重要性が叫ばれています。

今後、シルバー人材センターの充実とともに、ますます会員の増加が予想されますが、各センターでは、就業開拓とともに安全就業に一層の力を注ぎ、今世紀における高齢者の意欲ある姿勢の大きな支えとして、ご尽力下さることを心からお願いいたしております。



# 新年のご挨拶



鳥取労働局  
職業安定部長

高長 信一

新年あけましておめでとうございます。我が国は、急速な高齢化と少子化による人口の減少が同時に進展しており、世界に類を見ない超高齢社会を迎えております。

平成十二年の国勢調査によりますと、鳥取県は、総人口のうち五人に一人が六十五歳以上となっており、全国で7番目に高齢化が進んでおります。

我が国の総人口は平成十八年にピークを迎え、以後長期の減少過程に入りますが、鳥取県の人口は、既に減少過程に入っております。

さらに、平成三十二年には、総人口は五十八万二千人、そのうち六十五歳以上は、十七万三千人（全体の二十九、七％）と推計されており、三人強に一人が六十五歳以上になると見込まれております。

こうした中では、高齢者の方々が永年培ってこられた豊かな知識や経験に基づいて、その力を大いに発揮していただき、我が国とりわけ鳥取県の経済社会を支える側に廻って

いただくことがどうしても必要になります。

シルバー人材センター事業は、高齢者の方々が知識や経験を活かし、社会の担い手として活躍していただくことを支援する仕組みであり、地域社会の活性化や活力ある高齢社会の実現に大きな役割を果たしていくものであります。

最近の厳しい経済情勢の中においてもシルバー人材センター事業の成績は着実に伸びており、これもひとえに関係者各位の熱意と御尽力の賜であり、心から感謝を申し上げます。

「自主・自立・共働・共助」の理念の下、各シルバー人材センターが地域に信頼されるセンターとして、さらなる発展と今後の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。



# あいさつ



(社)鳥取県シルバー人材  
センター連合会  
副会長

福井 春光

新年あけまして、おめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

当連合会は平成十年十月に設立して五周年を迎えますが、センター事業を取り巻く厳しい環境変化の中で各センターが地域に密着した事業の推進に努力されその実績は年々着実に伸展しているところであります。

県連合会の主な事業の中に、県全域でのセンター事業実施体制づくりがありますが、昨年末で概ね全国設置率に達しており、現在進められている市町村合併の推進状況から県全域での事業展開は加速するものと推されます。次に、高齢者の無料職業紹介事業に関連するシニアワークプログラム事業がありますが、技能・介護講習の積極的な開催により高齢者の就業範囲の拡大等の成果が期待されるところであります。

好事例として、県中部地区で実施された技能講習第一種観光ガイド講習会受講者がセン



ターに入会して十九名が観光ガイド班を結成して毎月自主的な学習を重ねて今では地域の観光案内事業の推進者として活躍している状況に対して地域観光事業関係者から高い評価を受けながら会員活動を展開しております。

全国シルバー人材センター事業協会の「シルバー人材センター事業の現状と今後の効率的な事業運営のあり方に関する調査研究報告書」に示されているとおり、各活動拠点には多くの課題を有しており、地域に即応した事業運営を円滑に実施するためには連合単位の指導体制の設置等が必要と考えられます。

また、センター事業の公共性・公益性を確保していく上で、国・県及び市町村の基礎的な財政援助は不可欠であります。自助努力を鮮明にしていく必要があります。

また、就業率の増大に伴い就業活動に伴う事故、特に重篤事故が増加しつつあるようすが、健康で就業することはセンターの基本理念であり、各拠点センター・県連合会が共に安全就業研修を深め、安全対策委員会の活動による安全パトロール等、組織と対策の強化を図っています。会員各個人が常日頃気を引き締めて就業していただくことが何よりの対策であります。

今年一年が安全で健康な年でありますようお願いして、ご挨拶いたします。

## 平成十四年度第一回臨時理事会開催

平成十四年度第一回の臨時理事会が十月三日(木)「米子国際ホテル」に於いて、会長以下十二名の理事の出席のもと開催されました。

第一号議案 中・長期基本計画策定委員会の設置について  
第二号議案 平成十四年度 収支補正予算書案について  
いずれも原案どおり承認されました。

## 平成十四年度 事業実施状況

### 拠点センター業務調整 連絡会議の開催

県下、拠点センター業務調整会議を、東部地区・中部地区・西部地区の三カ所で開催し、それぞれのセンターから担当者が出席、各センター間の需給調整、広域化問題、無料職業紹介事業の実施等について協議し、特にセンター間の需給調整については、受注した仕事を的確にマッチさせるためのセンター間の連絡等さまざまな意見が出され、有意義な会議となりました。

### 第二回事務局長会議開催

本年度第二回目の事務局長会議を九月三十日(月)倉吉シティホテルにおいて開催しました。  
会議には、鳥取労働局尾高高齢者対策担当官、鳥取県労働雇用課の中西雇用政策室長の出席をいただき、全国連合会事務局長会議での説明資料、又厚生労働省からの平成十五年度概算要求内容等についての資料に基づき説明し、最後に質疑応答後閉会しました。

いきいき健康福祉まつり

2002年の開催

健やかで明るい長寿社会を実現し、世代間のふれあいの輪を広げて、「長寿社会は自らの問題」とするため、鳥取県社会福祉協議会の主催のもと、昨年に引き続き県内の東部地区、中部地区、西部地区の三会場で開催され



中部地区



東部地区

た「いきいき健康福祉まつり」に参加し、地域住民とふれ合い、シルバー事業の理解を得るとともに、事業の発展・拡充を図る目的で各会場にシルバー人材センターコーナーを設置し、連合会及び会場地域の拠点センターが参加し、来場者に公報資料を配布してPRに努め、又事業を紹介するパネルの展示、会員の手作り作品の展示、会員の就業状況写真の展示等を行い事業の広報活動を行いました。  
なお開催日は次のとおりでした。



西部地区

《中部会場》

平成十四年十月十四日  
伯耆しあわせの郷

《東部会場》

平成十四年十一月十日  
県立福祉人材研修センター

《西部会場》

平成十四年十一月二十三日  
米子産業体育館



平成十四年度

# 島根・鳥取シルバー人材センター連合 役職員交流研修会開催

去る平成十四年十一月二十六日・二十七日の二日間松江市の東急インホテルに於いて、島根・鳥取シルバー人材センター連合の役員百余名余りが参加し、島根、鳥取合同の交流研修会を開催しました。

研修会には、来賓として、鳥根県商工労働部長、鳥根県労働局職業安定部長をお迎えし、又講師として全国シルバー人材センター事業協会から鹿倉参事、鳥根医科大学の多田副学長をお招きし研修しました。

第一日目は、鳥取県南部広域シルバー人材センターの田子事務局長から「シルバー事業運営と安全就業」と題して事例発表があり、鳥根医科大学の多田副学長の「高齢社会を健やかに生きよう」と題して、高齢者が大いに参考になるお話しをいただきました。

第二日目は、全国シルバー人材センター事業協会の鹿倉昭雄参事から「シルバー人材センター事業の今後の方向と課題」と題して講演をいただきました。その後質疑応答にはいり盛会のうちに閉会しました。



安全就業研修会の開催

シルバー事業の最重要課題である安全就業について、去る十二月十七日（火）倉吉シティホテルにおいて、県下各シルバー人材センターの役員、会員六十五名の参加のもと、安全就業研修会を開催しました。

冒頭、南部広域シルバー人材センターの安全就業推進への取組について全国表彰の紹介の後、安全就業標語の表彰式を行いました。



その後講演に移り、全国シルバー人材センター事業協会（山口県連合会駐在）の兵庫忠義指導員の「安全は総てに優先する 安全対策は組織的に」と題して基調講演をいただき、引き続き鳥取市シルバー人材センター安全就業推進員法橋幹夫氏、米子広域シルバー人材センター事務局次長吉田浩一氏の事例発表の後、意見交換を行い良い勉強になりました。

安全就業標語の表彰作品

○優秀作品

念入りな 安全確認 事故はなし

鈴木 章夫

(社)倉吉市シルバー人材センター

○入選作品

安全を 確かめながら 楽しく作業

今日も無事故で笑顔で終了

松本 穆

(社)鳥取市シルバー人材センター

安全を 祈る家族に 笑顔の帰宅

井上 正一

(社)境港市シルバー人材センター

手慣れ作業に油断あり

安全チェックで無災害

亀村 清

(社)米子広域シルバー人材センター

これくらいと 軽く思うな その作業

心引き締め安全就業

橘 孝

(社)南部広域シルバー人材センター

安全は私の願い家族の願い

みんなで築こう安全就業

川内野節允

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

○佳作

ゆとりの笑顔で、今日も就業

岩本 仙子

北条町シルバー人材センター

体調不良が怪我のもと

健康管理で安全就業

小谷 和美

(社)米子広域シルバー人材センター

あなたまかせは危険です

仕事も作業も私が主役

梶島 和江

(社)倉吉市シルバー人材センター

安全就業

心を締め、仲間を絆

福柁 稔夫

(社)倉吉市シルバー人材センター

仕事終え 今日も無事故で

笑顔の家族

中島 祐文

(社)鳥取市シルバー人材センター



# 平成14年度SP事業の実施(計画)状況

シニアワークプログラム事業は、平成10年度から全国都道府県シルバー人材センター連合会が、国からの委託事業として、高齢者の雇用・就業機会の確保を促進することを目的に技能・介護講習を実施しております。

平成14年度鳥取県シルバー人材センター連合会の技能講習11回、介護講習は6回実施(計画)しました。

## 技能講習第1種

講習名	実施場所	講習日程	講習日数	申込者	受講者	修了者
パソコン(中級)	倉吉会場	06.17~06.21	5日	20名	20名	20名
オフィスクリーニング	米子会場	09.09~09.13	5日	27名	24名	23名
左官・ブロック積	鳥取会場	09.30~10.08	6日	12名	11名	9名
パソコン(初級)	境港会場	10.15~10.19	5日	20名	19名	19名
オフィスクリーニング	鳥取会場	10.21~10.25	5日	22名	16名	16名
接客サービス	鳥取会場	11.11~11.15	5日	18名	17名	15名
接客サービス	米子会場	11.18~11.22	5日	22名	20名	19名
パソコン(初級)	鳥取会場	12.02~12.06	5日	41名	20名	20名
観光ガイド	倉吉会場	12.04~12.10	5日	16名	15名	14名
パソコン(初級)	米子会場	01.20~01.24	5日	名	名	名
接客サービス	倉吉会場	01.27~01.31	5日	名	名	名

## 介護講習第1種「3級課程」

講習名	実施場所	講習日程	講習日数	申込者	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	鳥取会場	06.11~06.28	10日	22名	17名	16名
訪問介護員養成講座	米子会場	07.15~08.01	10日	44名	20名	20名
訪問介護員養成講座	倉吉会場	09.24~10.11	10日	28名	20名	20名

## 介護講習第1種「2級課程」

講習名	実施場所	講習日程	講習日数	申込者	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	鳥取会場	08.21~09.27	19日	23名	22名	22名
訪問介護員養成講座	境港会場	10.01~11.07	20日	17名	15名	14名
訪問介護員養成講座	米子会場	11.01~12.09	20日	25名	20名	18名





# 健康シリーズ⑦

## 大往生と心臓病



労働福祉事業団  
山陰労災病院  
循環器科部長  
遠藤 哲

### 【はじめに】

高齢者社会と核家族化の時代を迎えて誰もが思うのは、残された人に迷惑をかけないで大往生が出来たら、と言うことでしょう。心臓病はそういった願いかなえてくれる病気のひとつと言えるでしょう。

心臓病は三大死因の一つであり、鳥取県における年間の死亡率は、一六％です（平成十一年）。

心臓病による死因の大部分を占めているのが虚血性心臓病であり、その原因は冠状動脈の動脈硬化によるものが一般的です。

虚血性心臓病には大きく分けて狭心症と心筋梗塞とがあります。

心筋梗塞の場合、病院に辿り着く前に亡くなる人が三―四割程度と言われており、また、病院に到着後にアツという間に心臓が止まっ

てしまう場面にでくわす事もあります。まさに大往生でしょう。しかし、ちよつと待ってください。心筋梗塞は、適切な治療を行えば、退院後は大きな後遺症もなく普通の生活が可能であるという特徴があります。

大往生を急ぐ必要など全くありません。

### 【狭心症と心筋梗塞】

心臓は生まれ出る前から死ぬまで休むことなく働き続けている臓器で、大きさはヒトの手拳大です。

この心臓に酸素や栄養分を送っているのが、冠状動脈という口腔がわずか三―四ミリの動脈です。冠状動脈に動脈硬化が起ると内腔が狭くなったり（狭窄）、つまったり（閉塞）します。

狭心症は、狭窄により心臓への血液の供給が不足して一時的な胸痛発作をきたすものです。心筋梗塞は、閉塞により血液の供給が停止して持続的な胸痛をきたすものです。

従って、この二の疾患は動脈硬化という同じ基盤から発症する兄弟のような疾患です。

心筋梗塞になると、不整脈や急激な心機能の低下により短時間のうちに命が危険にさらされてしまうために、重症度や緊急度が非常に高い病気です。

狭心症では命に危険が及ぶ事は少ないので

すが、心筋梗塞に移行する事が多いため、それを防止する意味でも早期の治療が望まれます。

### 【予防】

動脈硬化は、二十才代からすでに始まっており、その意味では虚血性心臓病は防ぐことは出来ない病気であるとも言えます。

しかし、動脈硬化を促進するいくつかの因子があり、それをたくさん持っているほど発病しやすいという事はすでに明らかになっています。

これが冠危険因子と呼ばれるもので、喫煙・糖尿病・高脂血症・高血圧・肥満・虚血性心臓病の家族歴・ストレスなどがあります。例えば、高脂血症だけの人に比べて、高脂血症・喫煙・高血圧・糖尿病の四個を持っている人の発病の危険性は男性で約五倍、女性だと約十七倍似にもなります。

病気の予防にはこのような危険因子を取り除く事が大切になります。これらは生活習慣病とも呼ばれており、食事や嗜好、運動、趣味などの生活習慣の是正が必要ということになります。

薬物治療はこういった自主的な努力を補助するものすぎません。

予防には一次予防と二次予防とがあります

す。一次予防とは、これから病気になるように予防するものですが、持っている危険因子によって治療の開始時期や治療目標が異なっており、これをリスクの層別化といいます。二次予防とは、病気になった人の再発を予防するというもので、一次予防よりも厳格な管理が要求されます。

一旦、病気になると精神面や仕事の面でさまざまな影響が出てくる事が当院の患者さんのアンケート結果からも分かります(図一、二)、そのため、予防するという事は、将来にわたって快適な生活を過ごすという事にもつながります。

**【治療】**

もしも発症した場合は、できるだけ早期の専門的治療が必要です。

治療としては、カテーテルという管を用いて、狭窄あるいは閉塞した冠動脈を拡張して十分な量の血液が流れるようにする方法が一般的です。

心筋梗塞でこのような治療をした人としな人では、死亡率には約三倍差があります。

治療が早いほど救命率は高く、後遺症もすくなく済みます。

場合によっては緊急手術が必要となるため、心臓血管外科との協力も欠かせません。

当院では、ちょうど二十年前からカテーテルによる治療を始め、二十四時間態勢で心臓血管外科とともに急患の受けいれに対応しています。

医療の現場で思うのは、「なぜもっと早く病院に來なかつたのか？」というケースが余りにも多いという事です。

この疑問の答えの一つが当院でのアンケート結果で伺えます(図二)。胸痛があつても受診しない人が約四分の三を占めています。

この原因としては、健康に対する過信や、病気に對する知識のなさなどが考えられます。胸がおかしいと思つたら、「まさか自分が」などと思わないで早めに専門病院で受診する事が大切です。大往生を決め込むにはまだ早いですよ、まだまだ楽しい事はやってきます。



図1 心筋梗塞の仕事への影響

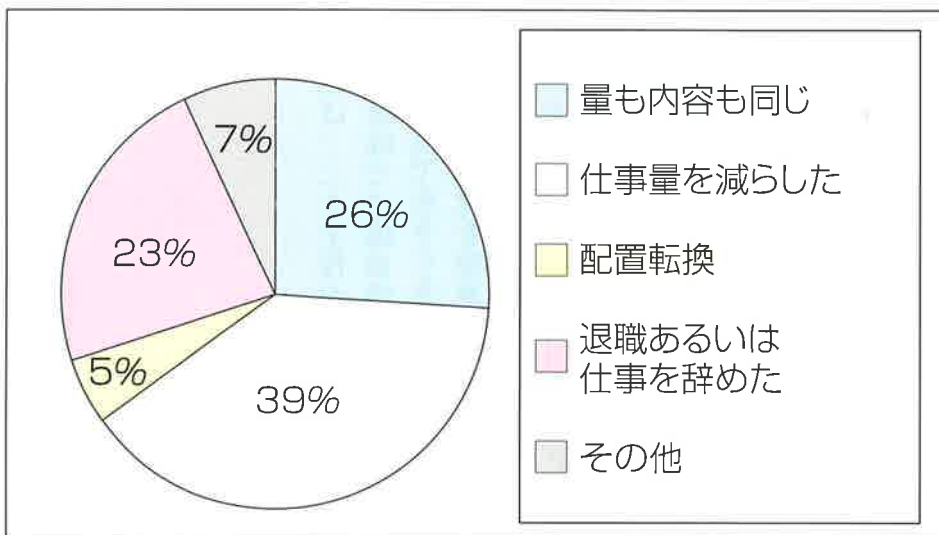




図2 心筋梗塞の再発に対する不安感

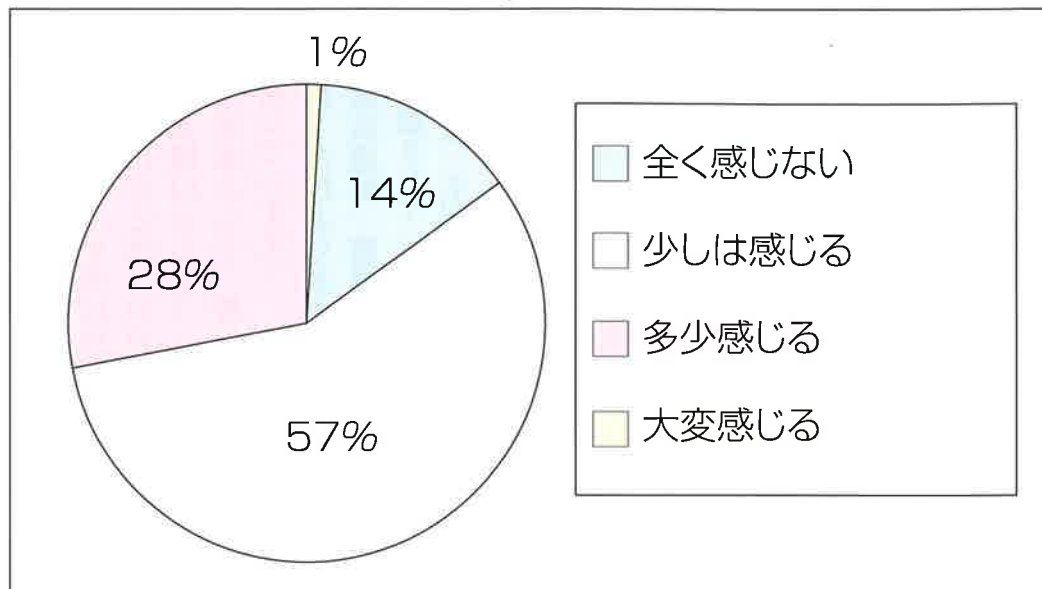
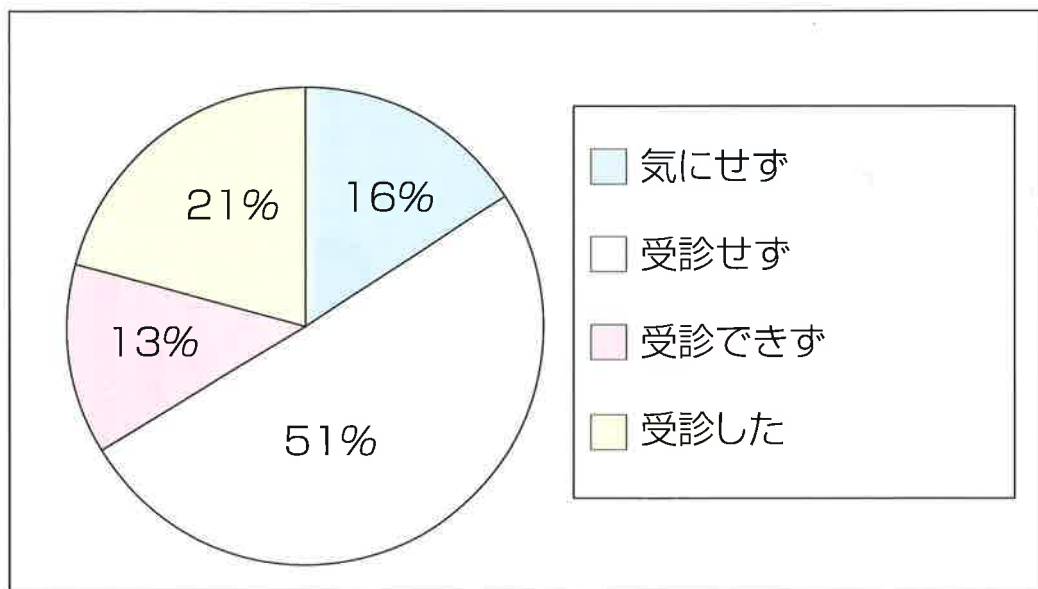


図3 胸痛発作に対する行動



## シルバー人材センターの紹介

### 羽合町シルバー人材センター

羽合町は、鳥取県のほぼ中央に位置し、日本海、東郷湖、馬の山など美しい自然を背景に、鳥取県中部の玄関口として、さらに中部圏の快適な住宅還境地として、新しい町活力ある町づくりが進んでいます。

この地は、原始、古代より水上交通の要衝として栄え長瀬高浜遺跡、橋津古墳群といった貴重な遺跡が確認されています。

また、戦国期には、毛利・尼子の合戦、秀吉と吉川の対峙など争乱の場ともなりました。

#### 一、センターの状況

羽合町シルバー人材センターは、平成十年六月四日、会員四五名で、小規模センターとして設立され、老人福祉センター内に事務局がおかれました。受注内容としては、剪定、草刈り、除草、障子張り、襖張り替え、物品配布、施設管理、食事サービス、検針等で他のセンターと比較して行政からの受注割合が多くなっています。



#### 二、今後の課題

「自主、自立、共働、共助」の基本理念をよく理解し、自主運営活動の定着化を計り、人材の開拓によって会員の高齢化や、後継者の育成問題の打破に勤め、会員の親睦を図る



為の研修会、小旅行の実施や、グループ活動の充実を深め、安全就業の高揚のための講習会を実施する等、課題はきりがありませんが、これからもボランティア精神で健康心豊かに地域の皆様に好かれる本物のシルバー人材センターをめざして行きたいと思えます。



# 会員の広場

## シルバー人材センターの二員とつ



野呂喜子

東伯町シルバー  
人材センター

東伯町シルバー人材センターも、五周年を迎える事に成りました。

私も一会員です、今年までの職場を、定年退職し家でブラブラ、テレビの守りばかり、体はまだ健康な方かな、(自称)でもこんな考えでは、何もしないうちに惚け老いて行くのみではないかと、今までの仕事は一日中室内で、机の前、併し外部の人が出入りする仕事に従事していました私の耳の内に入って来る会話は、家庭内のこと病のこと、私も同じ課程に漬かるのみかと思っていました。会の設立の事を知り設立時より入会しています。

最初はどんな仕事があるのか、不安がありました。でも何かの手助け出来れば、又自分の体力も少しでも維持して行ければと、考えました。

現在している仕事は老人宅の家事手伝いで、綺麗好きな老夫婦ですが、外出される機会

がすくなく人との会話もあまりありません。

自分の体調ばかり心配されています。

諺通り、遠い親類より近い他人と思いがらお互いに信頼出来る事を願っています。

私達の会も、少しずつではありますが会員数も増加にあり、又仕事の内容も広がり、需給の関係上手に保って行きたいと思っています。

私達は熟年です、少しでも信頼される人間である事を願って仕事を続けて行くようではありませんか。

## 国文祭熱き思いの賞状書き



(社)鳥取市シルバー  
人材センター  
筆耕班会員  
岸本 進

鳥取県では五十年に一度と言われる国文祭が県下百三十会場で、数々の感動を呼びまた今なをその余韻を残して二十四日間の会期を閉幕した。

私がかねてより予想された国文祭に関連する賞状は是非シルバーの手で書きたい旨、提言もしてきた。

丁度この六月国文祭ボランティア一般公募が行われたのに便乗して自筆の賞状を見本に県側に申し込んだところ数日後に承認の通知

を受けた。

作業内容は国文祭への出演者、協力者に対する県知事各市長二人連名の感謝状の版下書きであった。この由諸ある賞状書きであるだけに重圧感を意識しつつ反復書込に取組んだものの仲々満足の域に達せず日がたつばかりであった。

一方八月初旬、鳥取県書道連盟選抜百人展が国文祭の前座として行われることになっていただけにこれからのからみあいもあり、いらだつばかり、後で不評を買うよりはと思いいシルバーにリリースを申し出たりしたが自ら求めたことでもあり挫折も許されず続投となった。

七月下旬頃、早く書き上げて提出してほしい旨の県側からの督促があり取り敢えず提出したが意外にも好評のうちにゴーサインが出てお盆前に印刷に掛けられた。印刷後の名前の書き込み作業は本文との一貫性が考慮されてか私が書き込み全国的に国外にまで約一五〇〇枚段ボール箱三箱分が配布されていた。

これはかつて県主催の「わかとり国体」「全国高校総体」いづれにおいてもシルバーとしてなしえなかった快挙であり、又図らずも全シ協創立二十周年記念応募作品の会長賞となった「待つかから探す地域班へ」の提言を文字通り実行したこともあり感ひとおであった。

## シルバーに生きがいを求めて



仲嶋 勝利

江府町シルバー

人材センター

私の町は人口四千人余、高齢化率三四、二パーセント、正に三人に一人が六五才以上、加えて少子化の農村であります。

高齢者の健康と生きがい対策は従来に増して町の大きな課題であり、いろいろとその対策が進められて来ました。

今主なものを挙げますと、昭和四九年度に高齢者の学習の場、明德学園の設立（現在月一回開講、学生一五〇名）続いて昭和五一年老人憲章の制定、そして平成九年四月にシルバー人材センターが設立されました。

会員六〇名、平成一三年度契約金額約七〇〇万円 平均一人稼働約二〇日 全く小規模センターであります。

規約第三条に「高齢者のためにその経験と能力を生かして働く機会を確保することにより生きがいの充実、社会参加の推進を図り、もって活力ある地域社会づくりに寄与すること」と目的が示されております。

現在、契約を伸ばす大きな課題があります。今このシルバー人材センターの活動を通して生きがいを見出し、働くことで自信に満

ちた生き方をし、仲間づくりをしながら健康を保ち、僅かでも経済的ゆとりを得、喜びを得る生活に向かい着実に一步一步進んで行きたいことを願い、意を新たにしているこの頃であります。

## 講習会に参加して

### オフィスクリーニングを受講して



田口 正明

(社)鳥取市シルバー

人材センター

新聞で講習会の募集を知り受講に参加、五日間の日程で、一日目は講義。多少緊張しながらも興味深く聴きいる事ができ、あとの四日間は実技、各種の用具を使用し基本作業を学び、その後グループに分れて、個人個人が実技に挑戦いたしました。掃く、拭く、洗う等日常的な事であり、簡単に考えていた。

しかし実技に向かうと容易ではなく、注意を受け、プロとしての技術の要求をしみじみと感じる思いでした。

五日間の緊張した講習会であり、又、参加者同志も初対面で緊張していましたが、次第に仲間意識も出てきて、話しかけ合いながら

応援し合い、ある時は笑い声有り、拍手ありで楽しく日程を終えることができました。

プロとして仕事をやっていくには、講師の見本作業の通り、基本作業を理解し正確に行っていく事であり、熟練した高度の技術ビル環境、第三者に対する配慮、安全等の知識、難しい内容もありましたが、多くの事を学び講習会への参加は有意義でした。

現在、介護福祉の研修に参加しており、今後再就職を目標として、又、社会貢献できるように努力「苦勞・勤勉・持続」し頑張っていきたいと思っております。

今回受講させて頂き有り難うございました。

### パソコン講習を受講して



高塚 幸子

赤碕町シルバー

人材センター

パソコンは今の社会では、あたり前のことですが、少しは触れてみたい想いでしたが、

六月に友達から「倉吉であるシルバー人材センターのパソコンの講習を受講しませんか」と誘われて二十名の定員でしたが、一人



の方が辞退下さり感謝しつつ受講しました。

入講式の日ドキドキしてパソコンの前に座りました。最初はWORDの基本操作から、カーソル、ファイル、ツールバー、マウス等々の用語を憶えるのも大変でした。画面が作動せず、「先生」「先生」と助けを求めればかりでした。講習会も三日目頃になると、落ち着いてルールに基づき操作すれば、進むことができて文書の入力、メールの交換をいたしました。これが、これ又、キーボードが早く打てません。インターネットで、ソルダム酒の作り方が印刷された時は感激でした。

EXCEL基本操作で、表作成、数式等次々とデータが作成されるのに驚きです。

今度の講習を受講でき、シルバー人材センターの事務局様、指導して下さった若い先生方、一緒に受講した皆様方に、五日間を無事に修了させて頂きあり難うございました。

まだ入り口に立ったばかりですが、さらに励んで情報、生活改善に活用できるように希望を持ち続けて行きたいと思えます。



## 介護講習会を受講して



羽合町シルバー  
人材センター

山田高子

シルバー人材センターより介護講習会の知らせがあり、受講することにしました。

五年前から母が足を悪くして、歩く事ができなくなり、年々に痴呆症が進み母の介護が必要になって来ました。

なぜ私がこんな思いを、と思った事もあり母も涙、私も涙、の日々を過ごしたんです、でもシルバー人材センターの主催の三級過程に、参加でき無事修了させてもらえ喜んでいきます。これも母のため、私のため、みんなの為に思いを経験を生かして、母の介護につきましたが、受講中に死にました。少しの日々でしたが、納得し救われました。

受講を受ける前は不安でいっぱいでしたが、今では、全て前向きに考えるようになり、介護に悩む、お友達を励ますことさえ出来ること、介護技術、共感的理解、老人福祉の制度、サービス、家族の事など交えながら、一生懸命さがすぐく伝わりました。

同時に二級、一級とこれからも受講して行きたいと思えます、人材センターの皆様、又、泊デイサービスの皆様お世話になりました。

## 介護員一級課程を終えて



(社)境港市シルバー  
人材センター

木村綾子

以前よりホームヘルパー二級を受講したいと思っていましたところ、シルバー人材センター連合会主催の、介護講習受講の決定通知をいただき、二十日間の日程で、福祉理念の下、基本的知識の学習、ケアサービスに必要な基本的介護技術の実技訓練を受けました。実技訓練では、失敗もありましたが、先生の助言をいただき、無事に修了を終える事が出来ました。

研修で得た知識、技術を生かし、介護を必要とされる高齢者、障害者、又在宅介護では、家族だけでは、支え切れない介護の現実、苦しんでおられる人に介護の負担を少しでも減少し「日々の生活にいきがい」を持つて生きていただくための自立支援を行い、福祉制度、政策を活用し、保健や医療との連携を保ち、家事援助、身体介護、相談援助の方法をもっと勉強し、地域におけるチームケアの一員として、愛情と熱意をもって安心して、日常生活が送られるよう援助したいと思えます。

介護実習、同行訪問で得た貴重な体験を生

かし、私の出来ることを自覚を持って、自他ともに信頼しあい喜ばれるヘルパーを目指していきたいと思います。主催して下さいました連合会様、きめ細かな指導下さいました先生、ほんとうにありがとうございます。脳の活性化になりました。高齢者の私に生きるための励みになります、仕事の中も広くなりました。働く喜びも楽しみも増えました。

## 介護講習を受講して



東伯郡東伯町八橋十ノ一

石田 恵子

長年勤務していた会社を退職してから、毎日何となく一日が終わり、又同じように朝が来るような生活をしていましたが、これではいけない、私にでも何か出来るのではないかと、職安をウロウロしていた時に、パソコン講習会の案内を見つけ、申し込みをしたのが人材センターとの出会いの始まりでした。

以前から、ボランティアで老人の方との関わりがあったので、介護の仕事にも関心があり、勉強したいと思っていました時に、この講習会を知りすぐに申し込をしました。人材センターの介護講習は、同年代の方ばかりで教室の雰囲気もとても和やかで、毎日楽しく勉強

することができ、学生時代に戻ったようで十日間がとても早く感じました。しかし勉強すればするほど介護の難しさ、又大切さが分かり、もつと理解しなければいけないと思い、二級も受講しようと思います。講習では家事援助の仕方や体位移動など、いろいろ学びましたが、知識や技術は回を重ねれば、早かれ遅かれ身につくと思います。でも相手の方を思いやる心、やさしさは自分自身が、生まれながらに持っているものだと思うのです。もしも私が介護の仕事に就いたら、心の通い会える介護員になりたいと思っています。

## きっかけをつくってもらった私



(社)米子広域シルバー

人材センター

安田 栄子

会員になって半年、弟の突然死、父の死の後三ヶ月くらいと言われ不安と苦しかったであろう父、介護不足でゴルフボール位の褥瘡で赤かった尻の所、いつまでも頭から離れない現実には、母も叔母も私に介護して欲しいと言っている丈夫でもない自信もない「いい

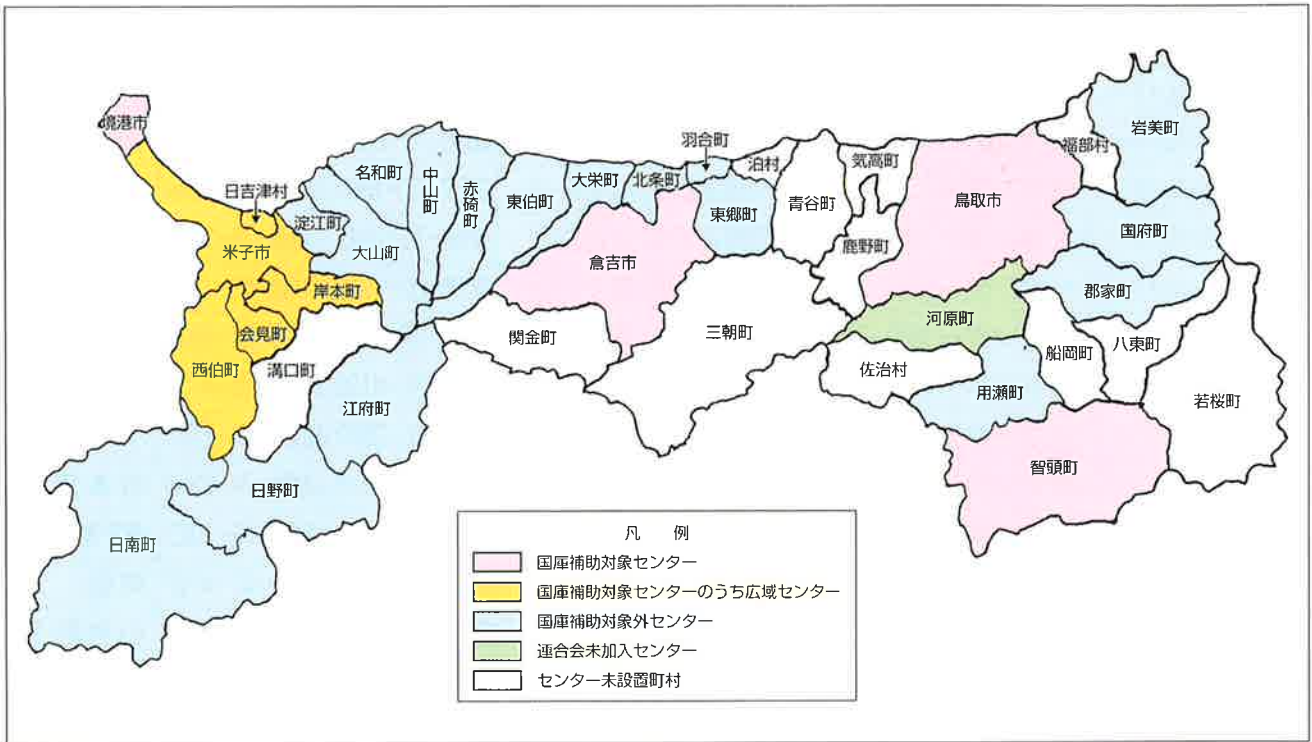
よ!」とは言ったものの、人材センターの人が用紙をくださった時父がフツと「元氣を出して頑張れよ!」と後押しされた様に訪問介護養成講座を受講する切っ掛けでした。勉強を始めると奥は深いけど学ぶことは本当に沢山あるし:楽しい:講師の方実習会場を提供してくださる施設、共に学びあえる仲間たち、元氣で若い人達がこんなに笑顔で福祉関係に従事していらっしやるのを目の当たりにした感動、私も久し振りに一生懸命勉強できた様に思っています。人生の先輩の様々な知恵を教わり「お元氣だね、氣をつけてね」と口ぐせの私、勉強した事を参考に私なりに頑張ろう「人生死ぬまで勉強」だもの、肩肘はらなくとも、時には立ち止まりながら相手の方の、不自由な個所を受け入れて私の言葉で手を差し出せば、すこしは喜んでもらえる、相手の方の笑顔が見られたらほのぼのとした気持ちになれる、その日を夢見ながら、私と縁が合ったら「始めましてヨロシクネ!」そして「ありがとう」とお互いに言えたらいいね。





# 鳥取県内のシルバー人材センター設立状況

県内のシルバー人材センター設立状況は、下記掲載地図のとおり39市町村のうち、連合会加入の国庫補助対象センターは4市4町1村で6センター、国庫補助対象外センターは17町で17センター、連合会未加入センターは1町で1センターの合計24センターであります。未設置は9町3村となっております。ここまでに至るまでには、20年の歳月を経ております。ただし、平成9年からの5年間では毎年2～3センターが設立され合計13センターを数えておりますので、この調子でいけば、高齢化の速度に比例して設立機運は早まるものと思われまます。



シルバー人材センターでは高齢者の知識・経験・技能を活かした様々な仕事を行っております。

### 事務分野

筆耕 宛名書き 賞状書き 書類・伝票整理 調査事務など

### 専門分野

編集・校正 教育指導など

### 技術を必要とする分野

簡単な大工 左官等 繕修 家庭内外の塗装 庭木の剪定・消毒 ふすま・障子の張替え ワープロ文書等の作成など

### サービス分野

家庭介助 家庭内の掃除 買物 食事の支度 子守り 老人話相手など

### 折衝・外交分野

ビラ配り デパート販売 補助 店番など

### 管理分野

駐車場などの施設管理 物品の管理など

### 屋内外の一般作業

施設・家庭の除草掃除 荷物の移動荷造りなど

その他の高齢者向きの仕事

# (社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員

名 称	〒	所在地	電 話	F A X	代表者
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0823	鳥取市幸町73	0857-22-0050	0857-22-0051	歳岡輝巳
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	川口貞良
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0864	倉吉市鍛冶町1-2971-2	0858-22-0870	0858-23-6101	福井春光
(社)境港市シルバー人材センター	684-0043	境港市竹内町40	0859-45-6661	0859-45-6583	足立郁馬
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡西伯町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	中川正昭
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	石谷文一
(社)岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2511	太田弘道
用瀬町シルバー人材センター	689-1211	八頭郡用瀬町別府31-1	0858-87-2302	0858-87-2369	和島利明
淀江町シルバー人材センター	689-3402	西伯郡淀江町淀江676-2	0859-56-6200	0859-56-6205	高野邦親
北条町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北条町田井46-2	0858-36-4527	0858-36-5056	山本義憲
中山町シルバー人材センター	689-3111	西伯郡中山町赤坂766-1	0858-49-3012	0858-49-3013	明里好弘
郡家町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡郡家町宮谷254-1	0858-72-0021	0858-72-2793	有田 益
国府町シルバー人材センター	680-0142	岩美郡国府町麻生4-2	0857-22-1880	0857-22-1889	山吹栄市
江府町シルバー人材センター	689-4403	日野郡江府町久連7-1	0859-75-2942	0859-75-3900	仲嶋勝利
東伯町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡東伯町浦安152-3	0858-52-1001	0858-52-1001	米田義人
大栄町シルバー人材センター	689-2205	東伯郡大栄町瀬戸36-2	0858-37-4522	0858-37-4532	竹歳邦安
羽合町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡羽合町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	磯江末夫
赤碕町シルバー人材センター	689-2501	東伯郡赤碕町赤碕1113-2	0858-55-7633	0858-55-1137	小泉忠好
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0338	0859-74-0338	谷本忠光
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山511-5	0859-82-0374	0859-82-1027	青戸建一郎
大山町高齢者能力活用人材センター	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-4787	森田 潔
東郷町シルバー人材センター	689-0713	東伯郡東郷町旭83	0858-32-0828	0858-32-0834	中村和美
名和町シルバー人材センター	689-3211	西伯郡名和町御来屋467	0859-54-6077	0859-54-6077	湊 勝利

お願い

・投稿募集

俳句、短歌、川柳、会員の声

俳句、短歌、川柳は二句(首)まで

投稿ご希望の方は左記までご連絡をお願いいたします。

米子市錦町一丁目二二

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

郵便番号 六八三〇八一

電話番号

(〇八五九) 三七二二五二二

F A X 番号

(〇八五九) 三七二二五二七

あとがき

今回も、関係各位の御協力のお陰で第八号が発行できました。ご寄稿いただいた皆様から御礼申し上げます。これからも紙面の充実に努めてまいりますので、一層の御協力をご愛読いただきますようお願い申し上げます。

会報 鳥取 第8号

平成15年1月1日 発行

発行：社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地：〒683-0811 鳥取県米子市錦町1丁目22番地

電話：0859-37-2531

F A X：0859-37-2537

印刷：東京印刷株式会社 鳥取県米子市両三柳929

電話：0859-29-2311